

# 城山小学校 第890回 平和祈念式 令和7年10月9日

## 2年生による発表

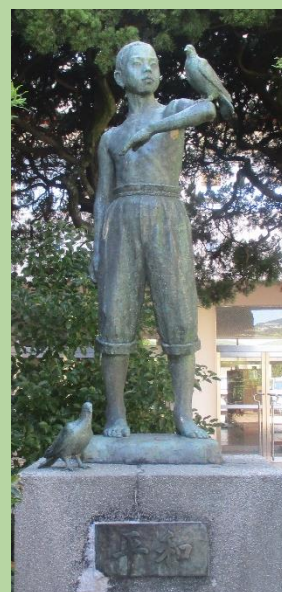
### 【少年平和像について】

タエ子ちゃんは、少年平和像の立つ台に「平和」という文字を書いた女の子です。タエ子ちゃんは、1年生のときに原爆にあいました。200人いた1年生の中で生き残ったのは、タエ子ちゃんを入れてたった3人だけでした。タエ子ちゃんは、おじいさん、おばあさん、おかあさん、2人のお姉さん、弟、妹の7人の家族を原爆で亡くしました。

タエ子ちゃんが6年生になったとき、原爆で亡くなった人たちの魂をなぐさめるために、そして、二度と原爆が使われないことをお祈りするために「平和の児童祈念像」を建てよう、という話が出ました。

タエ子ちゃんは6年生だったので、祈念像の立つ台の「平和」という字を代表で書くことに決めました。2か月間、毎日毎日「平和」の文字を一生懸命練習し、願いを込めて書きました。

そして、1951年、今から75年前の8月8日、少年平和像が完成しました。この像の少年は、原爆でお父さん、お母さんを亡くした城山小学校の男の子です。住む家も着るものもなく、亡くなったお父さんのズボンを焼け跡から見つけ出し、裾をまくり上げてはいています。ベルトがないので藁で絞め、靴もないので裸足で立っています。少年の左うでには、平和を願うハトが、足元には、原爆で亡くなった人々の魂が安らかでありますように…と祈るハトがいます。そして、少年は、「お父さん、お母さん、ぼくはさびしがらずに、元気で人類の幸せのため、世界平和をさげび続けます。」と言っているそうです。



わたしたち2年生は、何百回も「平和」の文字を書き続けたタエ子ちゃん、「世界平和をさげび続けます」と誓った少年、そして、亡くなったたくさんの子どもたちの平和を願う強い思いを、未来へ引き継いでいきます！



かくへいきの数が多くてびっくりしました。これからは楽しくへいわなせかいをつくりたいです！



友だちだけでなく、いろいろな人となかよくしたいです！

へいわなせかいをつかっていきたいです！